

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 安全で快適な河川環境の整備
-----	-----------------

施策主管課	河川課	総合計画記載頁	107ページ
-------	-----	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	14 良好な水と緑の環境を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。
------	--------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	環境と調和のとれた安全で快適な河川環境が創出されています。
------	-------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価									
	指標1	自然生態系などに配慮して整備している河川の整備率(%)	単年度目標値	57.8%	59.1%	59.5%	59.8%	60.3%			60.9%	A	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位		中核市平均	実績値	中核市での本市の順位						
	現状値 (H23実績)	58.0%	実績値	60.4%																								
	目標値 (H29)	60.9%	単年度の達成度	104.5%																								
① 施策指標	指標1	単年度目標値							A	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位										
		現状値		実績値																								
		目標値 (H29)		単年度の達成度																								
① 施策指標	指標1	単年度目標値							A	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位										
		現状値		実績値																								
		目標値 (H29)		単年度の達成度																								
③ 市民意識調査結果	施策の満足度(%)	調査結果	44.0%						-	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位	中核市平均	実績値	中核市での本市の順位										
		目標値 (H29)	54.2%	前年度からの増減																								

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

施策の満足度の推移

※評価の考え方

施策指標	A: 達成度90%以上 B: 達成度70%~90%未満 C: 達成度70%未満
中核市等との水準比較 (中核市での本市の順位)	A: 上位1/3(1~14位) B: 中位(15~28位) C: 下位1/3(29位以下)
市民意識調査結果 (満足度)	A: 前年度より向上(2%超) B: 前年度同水準(±2%以内) C: 前年度より低下(-2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事業については、河川整備を計画的に進めるとともに、市民参加による河川愛護活動や河川環境基金事業を活用した事業により、良好な河川環境と市民の河川愛護精神の向上に十分成果をあげている。 ・自然生態系などに配慮して整備している河川整備率については、計画どおり着実に達成できている状況であり、目標年次には目標を達成できる見込みである。 	市民満足度		進捗の状況	順調
------	--	-------	--	-------	----

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	河川環境基金事業		・川の日クリーン作戦の推進 ・河川維持管理	・市内全域の市民	・川の日クリーン作戦の実施 ・河川環境学習の実施	H3	・市民の河川環境への関心や保全意識の向上を図るため、広く市民の参加を促すため広報紙等によるPRをしながら、川の日クリーン作戦及び河川環境学習事業の実施する。
2	河川愛護活動事業補助金		・河川愛護活動の促進	・宇都宮市河川愛護会に所属する河川愛護グループ	・河川愛護活動への支援 ・会報の発行 ・意見交換会の実施	S45	・市民協働による河川環境保全と市民の河川愛護意識の向上を図るため、意見交換会による情報交換や、河川愛護グループの活動状況のPRなどを通じて、新たなグループの設置を促進していく。
3	都市基盤河川御用川整備事業	○	・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進	・流域に居住する市民、地権者	・地権者との用地交渉	H3	・財源の確保が難しく、用地取得も難航している状況であるが、いっ水被害の早期解消を図るため、今後も補助金の確保をしつつ、地権者の理解を得ながら用地取得に努める。
4	都市基盤河川奈坪川整備事業	○	・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進	・流域に居住する市民、地権者	・トンネル工の施工 ・護岸工の施工 ・地権者との用地交渉 ・用地買収補償	H20	・都市化の進展と異常気象によるいっ水被害の早期解消を図るため、国や県の交付金などを有効活用しつつ、地域住民や地権者の理解を得ながら重点的に事業を推進していく。
5	準用河川整備事業	○	・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進	・流域に居住する市民、地権者	・河川改修工事の施工 ・バイパス築造工事の施工 ・地権者との用地交渉 ・用地買収補償	S50	・豪雨時のいっ水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備を国の交付金などを有効活用しつつ、地域住民や地権者の理解を得ながら、計画的に推進していく。
6	普通河川整備事業		・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進	・流域に居住する市民、地権者	・調整池築造工事の施工 ・水路改修工事の施工 ・地権者との用地交渉	S47	・普通河川の数が多いため、地域住民や地権者に理解を得ながら、限られた予算の中で集中と選択により、様々な手法を用いて治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備を推進し、いっ水被害の解消に努める。
7	グラウンドワーク活動センター指定管理		・グラウンドワークの促進	・地域住民、企業	・自然環境保全、再生と環境に関する学習活動	H17	・活動組織の中核的なメンバーが、創設当初から固定化されているため、今後、組織の高齢化が懸念されることから、環境保全活動や環境学習等に関する情報を広く周知するなど、指定管理者に対し、継続的な活動参加者の確保と活動組織の拡大を促していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆都市化の進展と昨今の異常気象により、依然として豪雨時の溢水被害が発生しており、溢水被害の早期解消が求められている。 ◆厳しい財政状況の中、本市の財政負担を軽減するため、国県の交付金を有効活用した、河川整備事業の推進が必要である。 ◆人口減少社会の到来や高齢化社会の進展により、河川愛護活動等にかかるメンバー数の高齢化や減少が懸念され、愛護活動参加者の掘り起こしが必要である。 	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆溢水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備を推進する。 ◆市民参加による河川愛護活動や河川基金事業を活用し良好な河川環境と愛護活動につながる河川愛護精神の更なる向上を図る。</p> <p>〈主要事業〉 ◆流域の安全性を確保するため、依然として豪雨時等に溢水被害が発生している奈坪川、越戸川、新川等の河川整備を計画的に推進する。 ◆御用川については、限られた財源のなかでの選択と集中により財源確保が難しく、用地取得も難航している状況であるが、地元住民や地権者の理解を得ながら事業を推進する。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆愛護活動参加者の掘り起こしを図るため、川の日クリーン作戦や河川環境学習事業の実施により広く市民に活動参加を促すとともに、活動状況のPRなど、市民の理解や参加を促すための広報活動を継続的に実施する。</p>